

採択された請願

受理番号	受理年月日	件名	請願者氏名	紹介議員	付託委員会
請願2	19.2.23	日豪EPA交渉に関する意見書の提出について	南相馬市鹿島区横手字川原 185-1 そうま農業協同組合 代表理事組合長 鈴木 良重	白瀬 利夫	建設経済
請願3	19.2.23	福島県最低賃金の引上げと早期発行を求める意見書の提出について	南相馬市原町区北町 537 連合福島 原町区連合会 議長 藤田 幸一	小川 尚一	建設経済
請願4	19.2.23	仕事と生活の調和の実現に向けた労働法制を求める意見書の提出について	南相馬市原町区北町 537 連合福島 原町区連合会 議長 藤田 幸一	渡部 一夫	建設経済
請願5	19.2.26	子供の医療費無料化年齢引上げを求めることについて	南相馬市鹿島区南海老字北町 25 南相馬市子育てママの会 代表 寺島 美佳子	郡 俊彦 櫻井 勝延	文教福祉

●請願・陳情の提出をされる方へ

今回の6月定例会においては、6月11日(月) 午後4時まで に提出して下さい。

議員提出議案

可決された議案

件名	提出議員
南相馬市道の駅条例を廃止する条例制定について	櫻井 勝延
南相馬市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	西 一 信
南相馬市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	白瀬 利 夫
日豪EPA交渉に関する意見書	渡部 寛 一
福島県最低賃金の引上げと早期発行を求める意見書	平 田 武
仕事と生活の調和の実現に向けた労働法規を求める意見書	坂 本 恒 雄
療養病床の再編方針の見直しを求める意見書	渡部 寛 一



質問順に掲載しています。
また、内容は紙面の都合で要約しています。

問 小高保育園は定数150人に対して、3月の入園児は199人に達している。ぎゅうぎゅう詰めで昼寝をする場所にも事欠いている。
その上、入園待機児童は60人にも及んでいる。仕事と子育て

**緊急を要する
子育て支援**



渡部寛一議員

問 今年度から、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体化し、ほぼ毎日6年生まで対応する補助制度ができています。南相馬では、まだ検討段階であり取り組みが遅れている。

答 希望者が増加している。可能な限り対応し、状況によって3年生以上にも受け入れていく。
問 保育士の充足や園増設も視野に入れて検討していきます。
答 検討する段階ではない。至急実現すべき。学童保育定数を超えた申し込みがある。又、小学4年生以上の希望者もある。急いで改善して下さい。



▲たのしい保育所

答 地域と一体となって、できるところから整備していきたい。



太田淳一議員

アパレルシステム科の存続を

問 県立浜高等技術専門学校アパレルシステム科の廃止決定を受けて、今後の対応を伺う。
答 県に存続の方向で再検討していたが、要望したが、大変難しいとの回答。存続させるなら、業界などが主体的に運営

問 活動組織内の農振農用地の面積に占める割合が50%、県市がそれぞれ25%（市の負担約3,600万円）の割合で活動経費として支援する。NPO・市民団体などの参加が重要と考え、活動組織へ参加するための働きかけをしたい。
問 今年度の杉並区との交流事

答 規模を縮小し、短期間での訓練機能を残す方法があるとの助言。市としては、相及地域内の市町村や関係業界などと十分に協議し、当地域での存続の可能性を検討する。
問 農地・水・環境保全向上対策の協働活動について、活動組織に対する市の支援と今後の対応について伺う。



▲ファッションショー（浜技専校生）

答 杉並区役所一階ロビーに、物産販売及び観光などの情報を発信するアンテナショップを開設する。八月中旬に、中学生レスキュー隊の体験活動が北泉で行われる計画である。

特別委員会の設置

高速自動車道建設促進特別委員会	水資源対策調査特別委員会
委員長 委員 副委員長	委員長 委員 副委員長
雄雄夫 光和利 野賀瀬川田内 竹五白小土寺西湊郡小西	宗正一 稔一淳 賀中田村井部田林玉本林 志田太今櫻渡平小宝坂小
一子規信一彦イ治 美安一清俊 林	裕延一 勝寛 正義恒吉一 武幸則雄久成